

招かざる客 (Guess Who's Coming to Dinner)

観賞日 2024年2月5日 上映時間 108分

【概要】

制作 1967年 アメリカ
監督 スタンリー・クレマー
脚本 ウィリアム・ローズ
音楽 フランク・デ・ヴォール
撮影 サム・リーヴィット



出演 スペンサー・トレシー (マット・ドレイトン)
キャサリン・ヘップバーン (クリスティーナ・ドレイトン)
シドニー・ポワチエ (ジョン・プレントイス)
キャサリン・ホートン (ジョアンナ・ドレイトン)

【あらすじ】

1960年代のサンフランシスコ。空港に降り立った幸せそうなカップル、ジョンとジョアンナ。二人はジョアンナの両親に結婚の許しを得るためにやって来た。ジョンは37歳の黒人男性。高名な医師で8年前に妻子を事故で亡くしている。他方、ジョアンナは23歳の白人女性で父親は当地でリベラル派の新聞社を経営していた。

二人と会ったジョアンナの両親、マットとクリスティーナはジョンが黒人であることに驚く。ジョアンナによれば、ジョンは今晚NYに飛び、その足でスイスのWHO本部に赴任するという。限られた時間の中、ジョンの両親もLAから急遽やって来ることになる。性急に結論を迫られたマットは即答できる問題ではないと反論する。夕刻、関係者全員が揃う。母親同士はこの話に前向きでジョンを励ます。父親から結婚を反対されたジョンが語ったことは……。また、最後に全員を前にしてマットが行った大演説は……。

名優、スペンサー・トレシーの遺作となった作品。

【解説】

■ポイント

●スペンサー・トレシーとキャサリン・ヘップバーン

- ・スペンサー・トレシー（1900年～1967年）はアカデミー主演男優賞を2回受賞した名優であり、本作が遺作となった。キャサリン・ヘップバーン（1907年～2003年）はアカデミー主演女優賞を4回受賞したレジェンド。
- ・二人は映画で9作品に共演したが、二人が20年以上にわたり不倫関係にあったのは公然の秘密であった。（トレシーは既婚、ヘップバーンは未婚）トレシーの死を看取ったのはヘップバーンであったが、ヘップバーンはトレシーの家族に配慮し、葬儀には出席しなかった。

●受賞（1968年第40回アカデミー賞受賞）

10部門にノミネート

2部門受賞：主演女優賞：キャサリン・ヘップバーン、脚本賞：ウィリアム・ローズ

■見どころ

- ラストの全員を集めて話したマットの演説
- ジョンが父親を前に語った決意
「僕は黒人としてではなく、人間として生きたい」